

あいう屋のたより

3月 

発行責任者
西川 晃 二

校長室より

出会いと教育

3月1日、厳粛な中にも、とても感動的な「卒業式」が挙行されました。「蒼き故郷」、「旅立ちの日に」の全員合唱の時には私自身、年齢（とし）のせいでしょうか、涙がとめどもなく流れ、身体が震えました。校長として生徒たちとのふれあいが、十分であろうかと、日々反省ばかりの私ですが、そういう私ですら別れの寂しさに涙しました。まして、生徒一人一人の顔を知る担任の先生方には、いかに感動的な卒業式であったかと思いをはせることでした。

さて、卒業式の式辞にて、私は「出会いを大切にせよ」「生涯 学び続けよ」「凡事徹底に努めよ」と3点述べました。

そのうち「出会い」について、教育学者 森信三先生のことばをご紹介します。（なお、このことばは学校の3月の掲示板に掲げているところです。）別れの時だからこそ出会いの妙を実感してほしいと思います。

**人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。
しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。**

ということばがあります。このことばからは、人には必ず「出会い」がある。特に焦らずとも良い。待ってさえいれば出会いは向こうからやってくる、大丈夫だよ、と。つまり、「果報は寝て待て」式にという風にも読み取れます。しかし、果たしてそうでしょうか。「出会い」というものは漫然と待っていて訪れるのでしょうか。乏しい私の経験から申し上げるのも恐縮ですが、「出会い」はそう簡単には訪れないのではないと思います。実は、このことばの後に森先生は続けています。

**縁は求めざるには生ぜず。
内に求める心なくんば、たとえその人の面前にありとも、ついに縁は生ずるに到らずと 知るべし。**

と続きます。「出会い」は求めつづけるからこそ生じる、ということです。

昔、テレビ番組で問題を起こした我が子を弁護し、母親が言う台詞に「うちの子に限って……。」とか「我が子がくれたのは友達が悪いからだ。」という言葉が吐くシーンがよくありました。それは、母親の偽らざる心からの言葉だとは思いますが、しかし、別の視点から見れば、このようにも言えないでしょうか「友が悪いのではない。我がが悪いから悪い友達と付き合っているのだ。」と。「朱に交われば赤くなる」などとも言いますが、元々赤かったのではないか。「類は友を呼ぶ」に過ぎないのではないかと。さらに言えば「あなたの子が悪いから他の子も悪くなったのだ。」というように、実に意地悪な見方もできるのです。

では、「出会い」を深く、素晴らしいものにするにはどうすればいいのでしょうか。そのためには、「出会いを見極める力」を身につける必要があります。「出会い力」と言ってもいいでしょう。さらに、その「出会い力」をつけるには何が必要か。それこそ、そこに「教育」が必要なのです。「教育」といえば、世間では、勢い「学校教育」と思いますが、それだけではありません。教育とはすべての大人が担わなければいけません。家庭教育、社会教育、生涯にわたっての教育がそれです。また、「出会い力」を培うためにはすべての「教育」が必要であると同時に、生徒個々の「学ぶ力」も必要です。学力は成績だけではありません。その意味では「生きる力」こそ「学力」とも言えるのです。

さて、3月別れの月です。本校でも18名の先生方との別れを経験します。別れと同時に「出会い」を迎えるだけの「力」を、生徒一人一人に、今後とも育成したいと思います。

卒業式（1日）

3月1日（金）に五島高等学校普通科第65回、衛生看護科第38回の卒業証書授与式が挙行政され、190名の卒業生に卒業証書が授与されました。

校長式辞では校長が、卒業生へ饒の言葉を述べられました。その後、送辞では在校生代表の赤窄詩織さんが、「今まで私たちを支えてくださった先輩方との別れは寂しさに耐えられません。先輩方が築き上げてきた五島高校の伝統を引き継ぎ、新たな伝統の創造に向けて進んでいくことを決意します。」と感謝の言葉を贈りました。それを受けて答辞では、卒業生代表の内田 武志君が、卒業生、在校生、部活動の仲間、保護者への感謝の気持ちを述べた後に、「これから私たちの多くは故郷を離れ、新たなスタートラインに立ちます。目の前には大いなる希望に満ち溢れていると同時に、少子高齢化、就職難、複雑化する国際経済など、幾多の困難をはらんだ未来が広がっています。私たちは五島高校で学んだことをしっかりと心に刻み、毅然とした姿勢で世の中へ旅立つための『一歩』を踏み出して、歩み続けていきたいと思っています。」と決意を述べました。190名の卒業生はそれぞれ違う道を歩んでいきますが、これまで学んだ事を生かして、これからの人生を突き進んでほしいと思います。



特別表彰式（2月28日）

2月28日（木）に、卒業式に先立ち特別表彰式が行われました。高校3年間で学習や部活動などで顕著な活躍をした生徒が表彰されました。各種表彰の内容と表彰者は下記のとおりです。

- | | | |
|--|----------------------|--|
| ○長崎県教育委員会表彰 | 1組 内田 武志 |  |
| ○産業教育御下賜金記念優秀卒業生表彰 | 7組 山田 千夏 | |
| ○全国看護高等学校長協会平成24年度生徒表彰 | 7組 池田 瞳 | |
| ○長崎県高等学校体育連盟表彰 | 5組 角田 侑也 | |
| ○高校生新聞社賞 | 2組 居村 依季奈 | |
| ○特別活動功労賞 | | |
| 陸上競技やりなげ | 1組 野口 貴史 | |
| 百人一首かるた | 1組 西村 知佳 | |
| 女子バスケットボール | 1組 野口華奈美 山本 華 | 2組 竹山 莞那 玉井 希侑 仲間 香那 |
| | 3組 白石リカ子 野口 真紀 畑中 瑞保 | 4組 堀里 由奈 |
| | 5組 田口 遥 中村 優海 | |
| ○皆勤賞（3年間無欠席、無遅刻、無早退、無欠課） | | |
| 1組 内田 武志 野口 貴史 中村 優天 野口華奈美 畑田 涼花 築脇 美保 山中 晴香 | | |
| 2組 平山 達也 松本 治樹 澤本ひかり 杉本 育穂 竹山 莞那 松坂 玲菜 | | |
| 3組 野口 将太 松野尾 賢 石田真由紀 中村 彩花 松本麻依子 山本 千晴 | | |
| 4組 才津 佑介 白石壮太郎 御手洗維人 峯 和海 森 凌 貞方 淑恵 | | |
| 5組 入江 久世 片山 幸樹 白川都貴央 平山 智章 松岡 大樹 峯 重衡 森 颯馬 | | |
| 山口 武仁 吉田 柊嗣 江 奈月 川上 史絵 田口 遥 堤 智妃呂 橋口 成美 | | |
| 6組 川村 孝義 田口 元貴 平山 幸矩 出口 香織 | | |
| 7組 池田 瞳 | | |

同窓会入会式（2月28日）

2月28日（木）に平成24年度卒業生の同窓会入会式を実施しました。式には、吉野榮一石城会会長、五高祭や卒業式で全校生徒が合唱している「蒼きふるさと」をつくられた松本麻美さん（高48回卒）にご出席いただきました。松本麻美さんには、式歌練習の際「蒼きふるさと」を全校生徒の前で生で歌っていただきました。生徒たちの歌声をきいて「鳥肌がたった」と感動されていました。

入会式では、最初に吉野会長から入会に際してのあいさつがあり、島を離れ新たな生活を始める後輩たちへ、母校と故郷（五島）を愛してほしいというお願いがありました。卒業生を代表して庄司理子さんが吉野会長を前に、「母校五島高校と郷土の発展に尽力していきます」と入会のことばを述べました。最後に、西川校長より同窓会への入会を祝して、卒業生に激励の言葉が述べられ、平成24年度同窓会入会式が終了しました。

会員となった卒業生の皆さんには、進学・就職先で最寄りの支部（東京6月、長崎11月、大阪2月）や帰省した際に五島での懇親会（8月中旬に毎年開催）に積極的に出席し、同窓会の目的である会員の相互融和を図ってほしいと切に願っています。最後に、学年幹事は大島勝雅君と川端百恵さんです。五島高校の同窓生の輪を広げるとともに、様々な同窓会活動の際には、皆様のご協力をお願いいたします。

第2回校内競技大会（12日）

3月12日（火）第2回校内競技大会を開催しました。競技大会を開催するには絶好のコンディションで行われました。

各種目の開始式終了後、各競技が一斉に開始されました。各会場ともに熱戦が繰り広げられ、生徒それぞれにとって今年度最後の学校行事とあって、良き思い出となりました。また、サッカー、バスケットにおいて職員チームが編成され生徒たちと熱きバトルが繰り広げられました。

会場準備、運営、審判と各方面で協力頂いた部活動のみなさん本当にありがとうございました。

なお、大会の優勝チームは次のとおりです。

<男子> バスケットボール男子 1年2組			<女子> バスケットボール女子 1年7組		
サッカー男子 2年2・3組(合同)			ソフトボール女子 1・2年6組(合同)		
ソフトテニス男子 1年2組			卓球女子 1年3組		

進路結果速報（普通科65回生・衛生看護科38回生）

進路指導部

今年度も、多くの生徒が栄冠を手にしました。生徒たちの頑張り、そして保護者の皆様の暖かい励ましと支えの賜物でもあると思います。

一方で、まだ中期・後期日程の結果を待っている生徒もいます。最後まで粘り強く努力した結果が実を結ぶことを信じています。

※国公立大学 78人合格(3/11現在)（主な合格校、現役生のみ）

東京大学	1	岡山大学	1	佐賀大学	4
九州大学	5	熊本大学	4	大分大学	2
広島大学	3	長崎大学	1 3	琉球大学	8
長崎県立大学	9	尾道市立大学	2	熊本県立大学	1
福岡県立大学	2	兵庫県立大学	1	宮崎公立大学	1



※私立大学 107人合格(3/11現在)（主な合格校、現役生のみ）

早稲田大学	3	中央大学	1	福岡大学	5
-------	---	------	---	------	---

※就職試験 2人合格(3/11現在)

日本郵政	2	(就職先、現役生のみの実数)			
------	---	----------------	--	--	--



※衛生看護科:准看護師資格試験全員合格(16人)

「次年度に向けて」

1学年主任 山ロー守

今回の「あこう風のたより」の原稿依頼テーマは「次年度に向けて」になっていた。このテーマについて書こうとすると、ついつい未来のことをイメージしてしまう。しかし、未来について語るためには「今」を大切にすることが必要不可欠だと思う。「次」の前には間違いなく「今」があるはずだ。最近、TVのCMで「今でしょ!!」という言葉が流れているが、私自身もその通りだと思う。「今」をおろそかにしている人が、果たして未来を語ることができるのだろうか。今までの経験や失敗は活かされているのかと考えながら、「今」を意識しながら生きていきたい。

「今」を大切にするために、夢を持ち、目標を掲げる。それを公言することで自分にあってプレッシャーをかけることもあるだろう。また、計画を立て実行することも考えられる。「今」を大切にすることはいくつもある。だから、自分なりの「今」を大切にすることが必要だろう。1年生の1月進研のスローガンは、『「今、本気になる」～「やる気スイッチ」を押すのは自分。やった者だけがつかめる世界へ。～』だった。自分自身の「今」の本気度が分かるのは、自分だけだ。

昨年12月に「仕事の流儀 プロフェッショナル」のプロデューサー、山本隆之氏が来校されたことを覚えているだろうか。サッカー日本代表、本田圭佑選手の話は今でも印象に残っている。「世界一のサッカー選手」というとても高い目標を彼は打ち立てていた。そして、足が遅いことの劣等感、ユースチームからの脱落、移籍先での不振など数々の挫折を、彼は自らの努力で乗り越えてきた。周囲の選手が休んでいる時、彼は足を速くするための努力を怠らなかった。「オレならやれる。」という強烈な自負心の裏には、隠れた努力が積み重ねられていた。1年生の生徒のみんな、3月4日（月）に学年集会を開いたことを覚えているだろうか。2年生が始まるまでに学習や生活において大切なことを1年生生徒諸君には伝えた。学年末考査が終了してから、2年生が始まるまでの期間の重要性を繰り返し伝えた。「今」はその重要な時期のまっ只中だ。

1年生で培った学習や部活動の力をより強固なものにするためには、「今」の3月の過ごし方が今後の学校生活を大きく左右する。ここで、土台固めをやっておこう。授業（登校日）が少ないことで自分を甘やかしていないか振り返ってみよう。自分の進路実現に向けて、再度自分を奮い立たせるチャンスだ。1日でも、1時間でも、1分でも、1秒でも早く気付いて行動を起こして欲しい。やるべきこと、当たり前のことを当たり前に行おう。

「タイムマシンに乗って・・・」

第2学年主任 村田 誠

「タイムマシンは実現するか？過去に行くことはできなくても未来に行くことはできる。」テレビでそんなことをやってました。アインシュタインの相対性理論によると、超高速で動く物体の中では時間の進み方が遅くなるそうです。超高速で動く物体（タイムマシン）に乗って5年間移動し、降りたときには外の世界は10年が経過していた。つまり、未来に行った・・・へえ～とは思いますが、それじゃタイムマシンの意味がないですね。その未来には未来の自分はいません。未来に行って、自分の未来を見てみたい。過去に行って、過去を修正したい。そう思うことはありませんか？でも、そんなことできないのです。（当然！）

「過去と他人は変えられない。しかし、自分と未来は変えられる。」10年後、20年後の未来、あなたはどんな生活をしているでしょう。その大きな分岐点が1年後の未来に迫っています。2年生の間に何回も模試を受けてきて、その度に判定がついてきました。合格の可能性が40%と言われてどう感じたでしょうか？40%の判定がついた人が100人いると、そのうち40人の人が合格して、60人の人が不合格になる。その40人と60人の違いはなんでしょう。そんな未来なら自分で変えられると思いませんか。

模試結果の個人票には教科ごとの偏差値の推移や各分野ごとの成績、さらにアドバイスまで細かく記されています。あなたは「場合の数・確率」の分野が苦手だと書かれていて、自分でも自覚していたとします。**未来を変えるチャンスです。**行動を起こさなければ何も変わりません。「さて、いつからやるか？ 今でしょ！」

先日、進研模試のベネッセコーポレーションの人がこんなことを教えてくれました。「長崎県で2年生2月のマーク模試から3年生6月のマーク模試までに得点を伸ばすことができた生徒は、本番のセンター試験で平均100点以上、得点を伸ばしている。しかし、逆に得点を落とした生徒の伸びは50点以下にとどまっている。」6月の模試は高総体の直後です。この春休みが大事な分岐点に分かっていると思います。

土曜日も日曜日も春休みも学校は開いています。勉強しようと思っても、家ではどうしてもできないという人は学校で勉強してください。え？高総体が終わってから？お前は何を聞いてるんだ。「今でしょ！」



吹奏楽部定期演奏会 （17日）

去る3月17日（日）福江文化会館にて、第26回五島高校吹奏楽部定期演奏会を行いました。吹奏楽部の生徒をはじめ、4部のステージでは1年音楽選択者の合唱も加わり、ご来場いただいた皆様には最後まで楽しんで頂けたのではないかと思います。アンコールの「五島高校校歌」では会場が一体となり、温かい雰囲気に包まれる中、終演を迎えることができました。これからも学校行事や地域行事など、精力的に活動を行なって参りますので、ご支援ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



校内美化コンクール

これからも清潔で快適な環境づくりを目指し、気持ちの良い学校生活を送れるよう日々の清掃活動に取り組みましょう。



<年間総合>

1 学年の部

1 位 1 年 1 組
2 位 1 年 5 組
2 位 1 年 7 組

2 学年の部

1 位 2 年 3 組
1 位 2 年 7 組
3 位 2 年 5 組

離任される先生方

名 前	教科等	異動先
鶴田 圭子	教頭	佐世保中央高校昼間部
秋山 信吾	事務長	小浜高校
酒井 明彦	英語	長崎北陽台高校
田中雄一郎	英語	島原高校
楠本 亨	数学	大村城南高校
高比良 裕	理科	県教委（高校教育課）
城川 幸宏	保健体育	島原翔南高校
植原 康夫	数学	長崎南高校
藤 知恵美	国語	鳴滝高校昼間部

名 前	教科等	異動先
浦 彩子	保健体育	長崎東高校
三丸 孝彦	数学	諫早高校
中村 陽介	英語	長崎西高校
森 みどり	看護	佐世保東翔高校
井上 理沙	国語	長崎北陽台高校
山崎 悠	看護	退職
浜崎 渚	事務	退職
寺脇喜美子	事務	退職
山崎 京子	事務	退職